

## アカデミー賞®に2度輝く世界の名優アンソニー・ホプキンス主演

スティーヴン・スピルバーグ監督の『シンドラーのリスト』で描かれたオスカー・シンドラーのように、ナチスの手から 669人の子供たちを救った人物が英国にもいた。彼の名はニコラス・ウィントン、結果的に6000の命に繋がった活動 と子供たちとの50年後の再会を、『英国王のスピーチ』のプロデューサーが映画化。

ニコラスに扮するのは、『羊たちの沈黙』と『ファーザー』でアカデミー賞®を受賞した映画界の至宝アンソニー・ホプ キンス。さらに実際に助けられたかつての子供たちや、その親族が世界中から撮影に参加。数多のキャリアを 誇るホプキンスも「心を大きく揺さぶられた」と打ち明けている。共演には、『ブルックリンの恋人たち』のジョニー・ フリン、オスカーノミネート俳優のヘレナ・ボナム=カーター、「ザ・クラウン |シリーズのジョナサン・プライス。

監督はポン・ジュノと共に「スノーピアサー」の製作総指揮を務めたジェームズ・ホーズ。脚本は『リリーのすべて』の

ルシンダ・コクソン、音楽は『西部戦線異状なし』でアカデミー賞\*を受賞したフォルカー・バーテルマン。 あってはならない戦争が再び始まり、現在も続いている今この時代だからこそ贈る、人間の温かな心と無償の愛が 生み出した未来を描く希望の物語。 \*\*\*\* アンソニー・ホプキンスの パフォーマンスが素晴らしい。 この作品を観て、 泣かないなんてありえない。 —The Standard 時は1938年、第2次世界大戦直前。ナチスから逃れてきた大勢のユダヤ人難民が、プラハで住居も十分な食料もない悲惨な生活 の収録に参加してほしいと連絡が入る。そこでニコラスを待っていたのは、胸を締め付ける再会と、思いもよらない未来だった。

を送っているのを見たニコラス・ウィントンは、子供たちをイギリスに避難させようと、同志たちと里親探しと資金集めに奔走する。 ナチスの侵攻が迫るなか、ニコラスたちは次々と子供たちを列車に乗せる。だが、遂に開戦の日が訪れた。それから50年、 ニコラスは救出できなかった子供たちのことが忘れられず、自分を責め続けていた。そんな彼にBBCからTV番組「ザッツ・ライフ!」









onelife-movie.jp

6/21 金全国ロードショー 思知に ムビチケオンライン 1,600円(根込) 販売中 より 上映劇場、ムビチケ購入はこちらから▶ 回見・手



新宿東口 伊勢丹メンズ館そば 新宿ピカデリ· 050 (6861) 3011

有楽町イトシア イトシアプラザ4F

渋谷東映プラザ7&9F Bunkamura ル・シネマ 050 (6875) 5280 www.bunkamura.co.j